

お知らせ＞防犯カメラの設置稼働状況

生活安全事業として新たな見守り活動開始しました。

●防犯カメラ6ヵ所の設置場所●

- 小池地区：小長谷板金横 ・カメラ2台設置
- 西浜地区：やぎざわ荘横 ・カメラ1台設置
- 上野地区：八木沢バス停横 ・カメラ2台設置
- 下村地区：下村バス停横 ・カメラ2台設置
- 中村地区：ふるさとセンター前 ・カメラ2台設置
- 菅沼地区：NTT電話ボックス横 ・カメラ2台設置



(モニター画像)



各地区にて、このような設置作業が行われました。

★防犯カメラの追加希望設置については、西豆地域づくり協議会各役員へご連絡ください。

お知らせ＞恋人岬の新しい猫店長はこちらです！

新猫店長ちびにゃん・店長補佐むぎにゃんの2匹です。

二代目猫店長『ちびにゃん』オス

白トラ4歳（推定生年月日2020.4.30）

尻尾長め先曲がり

2020年5月にステラハウスの植え込みにいた所を拾われました。

初代店長のらぶにゃんが育ての親になり、一緒に過ごしました。

そのらぶにゃんが2022年1月

旅立ってしまい。残ったちびにゃん

は店長見習い期間1年10ヶ月を経て2023年10月1日、晴れて

『二代目猫店長』に就任しました。

<猫店長ちびにゃんの活躍>

産経新聞社発行の

・2024年版『猫どころカレンダー』の表紙を飾りました。

・2024年2月9日 BS朝日

『ねこイヌワイドショー』に出演

話題のネコとして取り上げていただきました。



猫店長補佐『むぎにゃん』オス

茶トラ1歳（推定生年月日2023.5.17）

美尻尾ロング

2023年7月に恋人岬近くで

保護されてやって来ました。目も鼻もグスグスで体重も700gの小さな身体でした。保護された時から人の足元を追いかけて来るような人懐っこい子でした。その懐っこさから二代目猫店長ちびにゃんの『店長補佐』にうってつけということで恋人岬で過ごしてもらうことになりました。

<むぎにゃんやらかしたこと>

懐っこいが故にやらかしも多く、車乗り込み行方不明になった事もありました。5日後に20キロ離れた船原岬で無事保護されました。現在はちびにゃんの補佐役として多くのお客様の接客を担っております。



恋人岬に来て二代目猫店長ちびにゃんに会う事が出来たら超ラッキーなのです！！

西豆
地区

地域づくりレター

一人一人が
地域の主人公 -COOL Sizu-

No. 30

令和6年5月31日

【編集発行】

西豆地区地域づくり
協議会 広報部会

西豆のいきいきびと 西伊豆眼科クリニック(小下田中村)



大高功院長56歳
オオタカ イサオ
支えるいきいきびと大集合

●良質な地域医療の提供を追求して21年になりました●



西伊豆眼科クリニック玄関
夕方次週の整理券が出ます



診察室
患者さん眼を細隙灯
顕微鏡で確認中



オペ用検査室
白内障手術に必要な検査
を実施中



検査室
視力や視野を測定中



西伊豆眼科クリニック医師 大高功医院長との対談

慶應義塾大学医学部卒 医師免許 第2種電気工事士免許



Q1 眼科医師になるきっかけは？

★一般に医学部入学から卒業まで6年間勉強し、眼科専門医の医師免許試験合格（合格率約80%）後、2年間の初期臨床研修、さらに4年間の眼科臨床研修が必要となるため、最短でも眼科医師になるには12年を要するとお聞きしました。先生の場合はいかがでしたか？

ー私の出身地は京都府京都市です。私立の中高一貫の進学校でしたので当たり前のように京都大学理工学部に進み電気工学エンジニアになる道を予定しておりましたが、2年目のチャレンジになった時、親類に医師がいました。その方の影響を受け、自分の将来の道を医師になる道へと変更しました。昭和62年慶應義塾大学医学部に入学しました。平成5年医師免許授与、平成6年慶應義塾大学病院眼科、平成8年亀田総合病院眼科（千葉県）、海外へ武者修行平成10年米国マイアミ大学医学院（フロリダ）、平成11年静岡赤十字病院眼科、平成14年同病院眼科医長、**平成15年西伊豆クリニック設立**、平成16年横浜相鉄ビル眼科医院院長になり現在に至ります。

Q2 この場所で施設開業した由来がありましたら教えてください。

★旧小下田小学校の跡地に、土日曜日だけ診療する眼科病院がある。この施設は誰がどの様にして造る運びとなりましたか？

ー静岡赤十字病院眼科医長になる間、忙しく働き、オベのスキルも磨き、患者さんの数を増やして来ました。ちょうど静岡市の対岸にある西伊豆の場所、小下田のペンションあしたばさんの宿へ数回宿泊する機会があり、ここから見える富士山また夕日の景観を大変気に入りました。

この数回の宿泊の間に、当時の土肥町町長鈴木衛氏とお話をする機会がありました。町長から、この地区、土肥町を含め



西伊豆一帯の地区には、眼科の病院がなく、峠を越えて行く必要があり、地元で診療を受けられる眼科施設の必要を訴えるお話がありました。私としては、この地域の医療偏在性をどのように解決していったら良いのか、一方眼科医として独立する道を探っていた時もあり、この申し入れを承諾し、約2年間かけて施設開設の準備を土肥町と一緒に進めて参りました。また施設で使用する診療機器と運営方針も独自性を求めました。毎週土、日曜日のみ診察と診療を行い、土肥の観光地としての立地メリットを出せるように最新の手術機器、検査機器を揃え、患者さんが観光地に滞在しながらオペ手術ができる病院施設を開業当初から目指しておりました。

Q3 この先の展望はありますか？

ーお陰様で医院開業から21年経ることができました。開業当初は一日20人ほどの診察人でした。この診療方法は良かったのか心配でしたが、現在は患者さんに寄り添ったケアと手術の腕前が少しずつ認知されて来たかなと思う手応えです。県外からの受付者も予定通りありこの診療施設を選んで頂ける患者さんには感謝しております。

筆者談：日本の眼科治療は、30年前ですと世界から遅れていると聞いておりましたが、現在では、世界トップレベルの評価を得ています。眼科医を目指す若手医師が積極的に海外に出て最新のオペ技術を習得し、最新の眼科専用機器の充実も日本の眼科治療レベルを押し上げる基になっております。これらの技術と器材を有効に使い、この地域に愛着を持って頂いている大高先生の今後の活躍に「乾杯」です。

令和5年度西豆地区地域づくり協議会収支報告



収入金額 ¥6,979,384 支出金額 ¥6,979,384

（差引金額 ¥0 伊豆市へ返却分はありません）

交流促進事業 ¥1,979,471

●交流拠点整備事業

- ・南小記念広場の維持管理

●世代間、文化交流事業

- ・賑わい創出イベント（豆まき）
- ・世代交流イベント（お飾りづくり）
- ・イルミネーション 12月夜間点灯
- ・土肥桜まつり事業へ協力
- ・園豆グランドゴルフ大会

●地域資源活用事業

- ・資源活用イベント（あさり放流）

環境美化事業 ¥1,913,148

●遊休農地花いっぱい事業

- ・ひまわり植栽・管理
- ・コスモス植栽・管理
- ・菜の花植栽・管理
- ・蓮の管理
- ・フジバカマ植栽
- ・沼沼地区での植栽・管理
- ＊土肥桜移植工事

広報事業 ¥196,414

●地域づくりレター発行

- ・27号、28号、地域づくりレター号外
- 29号各世帯配布

生活安心事業 ¥2,814,265

●安全・安心対策事業

- ・防犯カメラ整備
- ・研修用映像器材整備
- ・防犯灯整備、感染症対策

事務事業 ¥76,086

●協議会事務事業

- ・総会及び協議会の会計事務



令和6年度予算

収入金額 ¥5,000,100

収入伊豆市交付金 ¥5,000,000

ふるさと納税額 ¥0円

+預金金利 ¥100

令和6年度西豆地域づくり協議会役員名簿（敬称略）

会長 勝呂 真人（八木沢区） 副会長 佐藤 広幸（小下田区）

会計 関 義光（八木沢区）

交流促進部会長 市川 茂（八木沢区）・副部会長 鈴木 基由 蜂屋 雅志

環境美化部会長 金刺 重哉（八木沢区）・副部会長 関 重喜 野畑 隆史

広報部会長 蜂屋 巖（小下田区）・副部会長 松本 卓也 西條 真実

（幹事11名）

瀬尾 淳（小池）渡邊 智光（松原）高石 泰宏（中島）永岡 智明（長藤）

永岡 司（上野）長浜 勇治（西浜）吉田佐喜雄（大久保）酒井 照家（下村）

廣沢 智純（中村）鷺生 庫三（藤沢）蜂屋 繁（小峰）

●地域づくり協議会では事業継続の為、地域住民皆様の積極的な参加をお願いいたします。

交流促進事業150万円

南小記念広場維持管理・整備事業

- ・芝生・土肥桜・最福寺しだれ桜等の管理
- ・遊具施設の点検と補修

世代交流事業

- ・スポーツ交流事業（グランドゴルフ）
- ・お飾りづくり&ビンゴゲーム大会
- ・南小記念広場イルミネーション

- ・西豆邑まつり事業
- ・土肥桜祭りへ協力

地域資源活用事業

- ・あさり放流事業



総会、役員会運営に関する
会計事務

環境美化事業130万円

遊休農地花いっぱい事業

- ・ひまわり植栽
- ・蓮花の栽培・管理
- ・菜の花植栽
- ・菅沼地区 ひまわり、菜の花、カンナ、ノースポールなどの植栽
- ・松原地区入口 コスモス、菜の花の植栽、

皇帝ダリア育成支援

- ・フジバカマの植栽と管理
- ・国道136号歩道の除草
- *倉庫入口の改修工事

生活安心事業190万円

安全・安心対策事業

- ・LED 防犯灯の設置、防犯研修会等の開催、感染症予防対策
- ・地域の安全点検・改善（道路、河川、遊休農地）
- ・防犯カメラ設置・管理
- ・資器材の修理・整備

（防犯カメラ設置地区紹介）



協議会事務事業 10 万円

広報事業20万円

地域づくりレター発行

- ・次回発行予定号 30号、31号、号外、32号（各600部配布）



（※人形紙袋表紙紹介）

西豆地区の摂舎（お宮さん）の棟梁八木沢・小下田地区には、各地に決まってお宮さんがあり、摂舎に祀られています。

その数は西豆地区をぐるりと囲む様に配置され、摂舎は二十基、山の神を祀る石の祠が十一基と、神様が守ってくれている場所の中で西豆住民は暮らしています。

西豆地区の摂舎は、主に江戸時代初期頃から造られ始め、数回の補修、改築を経て現在に至ります。特に記述する二つの摂舎の記録は古く、一三四三年（康永二年）下村の三島神社は、小下田発祥の地丁ノ田（ちよんた）にあったと言われております。一三六一年に発生した南海トラフの康安地震の大津波に見舞われた丁ノ田は流失し、人家は神社の上に移動し、石段を降りて下方にある神社へ参詣することになりました。同刻八木沢の天神社小池では、津波の時天神様の神像が付近に漂着したのを里人が拾いあげ、祀るようになったという記録が残っております。

千五百年代文龜四年、八木沢上野の御三島神社、さらに八木沢長藤の白山神社が造られました。



摂舎は主祭神と関係の深い神様を祀る祠です。

摂舎写真
米崎区の酒井多治郎氏改築作

千六百年代慶長五年、米崎の三島神社から始まり、大木山の山神社・坂ノ上の八幡神社・菅沼の山王神社・藤沢の神明神社・八木沢小池の天神社補修・米崎の不動尊神社・中村の神明神社・八木沢西浜の江ノ島神社が造られました。

千七百年代元禄一三年、になると、八木沢長藤の山神社・下村の津島神社・大久保の熊野神社・小下田の浅間神社・大久保の津島神社が造られます。

この築造時代に活躍されたのは、瀬尾・鈴木・金刺・永岡家の歴代大工棟梁の人達です。

千八百年代になると、徐々に新造から補修、大幅な改築へと移って行きます。小峰の八幡神社文化四年・八木沢松原の三島神社は慶応四年に造られております。この千八百年代に活躍されたお二人の大工の棟梁が居られます。一人は小下田米崎の酒井多治郎氏、もう一人は八木沢小池の佐藤伝兵衛氏です。お二人の間柄は、地域づくり二十九号で紹介しました本因坊秀和の、妹が伝兵衛氏の妻となり、その二女が多治郎氏の妻となった親戚同士の間柄です。



酒井多治郎氏（一八一六〜一八九九）
小下田米崎の屋号大上の四男として生まれました。お隣の屋号かいとにいた江戸で働く大工の棟梁に師事し、若くして江戸に出て技量を磨き、優れた大工となり帰郷しました。その後、西伊豆一帯で棟梁として数々の建築にあたりております。

一八五九年（安政六年）江戸城本丸御殿が焼失した際、葺山代官所より声が掛かり、この修復を請負いました。さらに四年後の一八六三年（文久三年）に発生した本丸、二ノ丸、西ノ丸の各殿の焼失時にも、優れた技量での修復を行ってあります。

これまでの活躍が幕府役人の目に留まり、工事完成に際し刀銘（薩州住藤原正房）、袴、硯等を与えられてあります。

多治郎さんが棟梁として携った現存している主な建造物には、明治九年建立の土肥一楽山清雲寺本堂があります。



八木沢小池の天神社（翁姫酒を飲み図）



中村の神明神社本殿（龍に乗る天神図）



八木沢松原の三島神社（彫刻師永岡伝吉作もあります）



大木山の山神社（小峰八幡神社と同じ構図です）



三島大社本堂（松崎出身の小沢派内活躍）

佐藤伝兵衛（一八一八〜一九〇五）
八木沢小池の屋号天神前の長男として生まれました。少年の頃から絵を書くことが得意で、麗山の門下生となり寺彫刻の分野で腕を振るいました。現在でも佐藤伝兵衛氏が残した神社彫刻物を多数身近に観ることが出来ます。代表作として三島大社の向拝彫刻があります。

